

商店街活性化事業計画の概要

地 域	東京都大田区	認定日	平成22年2月5日
-----	--------	-----	-----------

事業名: 商店街を軸にした12のつながり・地域コミュニケーション基盤づくり事業

事業者名: 大森柳本通り商店街振興組合(東京都大田区)

事業実施期間 平成22年4月～平成27年3月

商店街活性化事業の概要

・魅力ある店舗づくり、高齢者対応の施設、地域イベントの実施による活性化といったニーズに基づき、商店街パートナー制度等により商店街内外のコミュニケーション強化を図ると共に、小さなアイデア・小さな取組の積み重ねによる人材育成、施設改善、各種イベントを実施し、都市型商店街再生のモデルを目指す。

商店街活性化事業の内容

地域住民ニーズ

地域住民へのアンケート調査等により、商店街に対して、高齢者対策の施設整備(老朽化した暗いアーケードの更新・休憩施設の整備)や若い店主の育成、専門店の増加・業種の拡大といった顧客利便性の向上、地域イベントによる活性化等のニーズが多いことが判明した。

実施計画の主な内容

- ・商店街パートナーを募集し、商店街活動に対する評価・助言(地域住民のニーズに即しているか等)を広く集め、また個店強化型ホームページや店舗内共同情報発信、商店街内での回覧板・掲示板等の実施により、地域住民を含めた商店街内外のコミュニケーション強化を図る。
- ・外部専門家を招聘した商機能の改善に向けた研修会を行い、その成果の実践の場として、空き店舗等における地域特産品の販売や、子連れ客が遊び高齢者が見守る世代間交流の場として利用する等、様々な企画を実施することにより店舗人材・若手店主の育成を図る。
- ・老朽化したアーケードを利用客の安全・安心はもとより、アーケードにパネル展示等を行い、通行する楽しみや、期待が高まるような取組を行っていくとともに、商店街でのショッピングの途中で休憩できるベンチの設置、アーケードが駅まで繋がっていないというニーズに応えるため、商店街の広告入りの傘の無料貸出し等を実施し、商店街の利便性向上を図る。
- ・商店街内の2店以上で買い物した顧客に対するサービスや誕生日サービス、アーケード記念日・大森歴史の日・鉄道の日における各種イベントの実施で、交流のきっかけづくりを図る。

商店街活性化事業計画の目標

- ・大型商店街や観光地化した商店街等の特異な条件下にある成功事例ではなく、地域商店街として、地域住民を含めた商店街内外のコミュニケーション強化を図る等の小さなアイデア・小さな取り組みの積み重ねにより活性化を果たし、都市型商店街再生のモデルとなる。
- ・平成27年度の目標として、来街者数を12,000人(現在1万人弱)、空き店舗0店(現在2店)、若手店主10店舗(現在4店)、新業種専門店10店舗(現在5店)、商店街パートナー登録1,000人、施設に関する改善要望放置0を達成する。

【鉄道に隣接した商店街】



【熊野神社祭礼】



【夜の縁日】

